

1 事業の成果

学童保育事業は8年目。少人数で家庭的な環境や地域との密接な関わりなどを求めて当団体を選択するご家庭が多いが、今年度は特に在宅ワークの定着と物価上昇による経済的な負担感から会員数が減少した。

一方で、より細やかな対応が必要なケースが増加してきており、家庭や学校だけでなく関係機関も連携して情報共有しつつ対応を協議したり、併設のフリースクールと合同ケース会議を開いてスタッフの知見や臨床心理士からのアドバイスを得ることで、充実した保育を展開できていると実感している。

共働きで時間に追われながら小学生の子育てに奮闘する保護者が、少しでも気持ちにゆとりをもち、安心して子どもたちと向き合えるよう、活動の様子を会員専用SNSで日々発信したり、メール内容やお迎え時の声掛けに配慮するなど、子育て経験豊富なスタッフの多い団体の強みを生かした運営ができていると考えている。

フリースクール事業は、神奈川県教育委員会からの委託事業で居場所づくりや学校連携に力を入れ、神奈川県青少年センターから委託を受け相談事業を実施してきた。また、ドコモ市民活動助成金を得て鎌倉市教育委員会と協働で市内中学校の校内フリースペース活用事業の伴走支援に取り組んだ。さらに、国の研究事業として引き続き不登校情報ポータルサイト「キミイロ」の運営に取り組み、県立総合教育センター不登校担当調整監への取材や大和市の学びの多様化学校の取材が実現した。

今年度は福祉部局との連携強化にも着手した。地域のスクールソーシャルワーカーの視察受け入れや鎌倉市生活福祉課職員およびケースワーカーの視察と意見交換を実施、神奈川県社会福祉士会の研修会には代表が登壇した。また、鎌倉市エンパワーメントプロジェクトの地域コーディネーターの仕事を受託し、これまで取り組んできた不登校と教育格差の問題に加え、生活保護世帯や就学援助世帯の子どもたちの体験格差という課題についても法人として関わり始めた。

次年度は、認定ファンドレイザーの資格を取得したスタッフを中心に、団体の組織基盤強化継続とフリースクール奨学金制度設置を目指す。

引き続き、子どもが真ん中の居場所づくりを継続し、子どもたちが自分の居場所や学びの場を選択できる社会の実現に向けて活動していきたい。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 放課後児童健全育成事業

(ア)

- ・内容 放課後児童健全育成事業
- ・日時 通年
- ・場所 鎌倉市常盤145「ふかふか」
- ・従事者人員 学童保育施設運営 年285日開所 一日2～6人 延べ1,140人
- ・受益対象者 乳幼児 小中高生 その保護者
学童保育施設運営 年285日開所 登録児童数32名
ワークショップ 36回
延べ6,520人
- ・支出額 15,353,894円

(イ)

- ・内容 放課後児童クラブ支援事業
- ・日時 通年
- ・場所 鎌倉市常盤145「ふかふか」
- ・従事者人員 年285日開所 一日2～6人 延べ1,140人
- ・受益対象者 乳幼児 小中高生 その保護者
年285日開所 登録児童数 32名 延べ6,290人
- ・支出額 1,812,600円

② フリースクール事業

- ・内容 フリースクール事業 ワークショップ
- ・日時 通年
- ・場所 鎌倉市常盤145「ふかふか」及びその周辺
- ・従事者人員 フリースクール事業 年184日開所 一日2～4人
ワークショップ 221回
延べ740人
- ・受益対象者 フリースクール事業 小中高学生 その保護者
年184日開所 延べ960人
ワークショップ 221回 延べ760人

神奈川県フリースペース等相談事業費補助金による相談事業はオンライン・電話を含めて年195日実施した。

- ・支出額 7,445,487円

- ③ プレーリーダー、読み聞かせ、造形活動等に関する事業
- ④ その他この法人の目的を達成するうえで必要な事業

①②において、法人全体の運営戦略を検討する「riseプロジェクト」を実施。
スタッフ7～8人による月1～2回の定期的な会議の場を設け、事業・財源・組織の基盤づくりに取り組んだ。

③については①放課後児童健全育成事業内で実施、④については特に実施しなかった。

以上